



# 青南だより

令和3年 春休み号

港区立青南幼稚園

園長 新山 裕之

## <大切な日を忘れない>

3月11日は、10年前、東日本大震災・原発事故があった日です。あの日のことを知らない子どもがいることを案じて、その日、私は全ての学級を巡って、あの日の出来事とその意味などを直接話し、一緒に黙とうをしました。

19日の選抜高校野球の開会式の選手宣誓は、10年前とその翌年の選手宣誓や開催できなかった昨年のことを受けた感動的な内容でした。多くの人々の心に響く言葉が、まだ十代の若者から語られていることをうれしく、誇りに思います。

## <若い力が世界を変える>

私たちは未来を担う子どもたちを育てています。今年の修了式の写真撮影の後、子どもから「大事な紙（修了証書）をありがとうございました」、園庭に戻ってからも「園長先生、ありがとうございました」とお礼の言葉をもらいました。保護者と一緒ではなく、子どもが自分で来てくれたのです。式の中で、「感謝の心を忘れないで」と話しましたが、大人でもなかなかできないことができる子に育ったことを本当にうれしく思いました。改めて保育という仕事の素晴らしさを感じます。

## <日々の積み重ねでみんなが育つ>

日々の小さなことを積み重ね、子どもたちは大切なことを学んできました。これは、大人も同じです。先日、年長保護者の皆さんからいただいた幼稚園生活を振り返ってのメッセージには、幼児教育の本質を理解してくださっていることが随所に現れていました。私たち教職員も、たくさんのことを学ばせてもらう毎日でした。子どもも大人も成長できたことを心からうれしく思います。幼稚園に関わる全ての皆さんに深く深く感謝します。本当にありがとうございました。

### 青南の 二十四節気

・・・青南は みんなの 心のふるさと・・・

都会でありながら、青南幼稚園には豊かな自然がたくさんあります。青南はみんなの心のふるさとです。今年度も、この街や園内外の自然の移り変わりに心を寄せて、「青南の二十四節気」をお届けしてきました。それは、身近な自然との関わりが、子どもたちの心を育てる情操教育にとって大事だと思うからです。

今年は、私自身が今まで以上に青南幼稚園の自然の豊かさを再発見できました。そして、七十二候に合わせて小さなコラム「みちくさ いたずら こどものじかん」を発行し、ホームページで発信し続けたことで多くの方々に、身近な自然に目を向けて関わるおもしろさを感じてもらうことができ、うれしい一年でもありました。

4月からは新しい仲間を迎えて、令和3年度が始まります。健康管理、感染予防を再度徹底して、毎朝元気に幼稚園に通って来てほしいと思います。どうぞよろしくをお願いします。



最後の弁当の後にはお礼の手紙を書きました



今年は体育館をお借りして練習もできました



保護者に向けて「お別れのことばと歌」を披露



園庭には在園児保護者が作った飾りが



修了式の翌日、式の様子を写真で紹介